

「きょうとSDGsネットワーク」 「京都SDGsパートナー制度」について

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



きょうとSDGs ネットワーク

京都市総合企画局総合政策室

1 きょうとSDGsネットワークとは

「きょうとSDGsネットワーク」は、行政・金融機関・関係団体でSDGsを強力に推進するための新たなネットワークです。京都でSDGsの推進や社会課題の解決、地域の持続的な発展に貢献する事業者等を推奨するための制度を体系化し、相互に連携することにより、公と民が一体となって社会経済の好循環を生み出します。



取組内容

- 1 SDGsの普及啓発
- 2 セミナー、シンポジウム、交流会、研究会など多様な事業者等が連携する場の創出
- 3 SDGsの推進に向けた定期的な対話、協議及び情報交換
- 4 SDGsの推進に取り組む事業者等へのメリットの付与

参画団体

(株)三菱UFJ銀行 / (株)京都銀行 / 京都信用金庫 / 京都中央信用金庫 / 京都信用保証協会 / (一社)ソーシャル企業認証機構 / 龍谷大学ユネスコソーシャルビジネスリサーチセンター / (公財)京都高度技術研究所 / 京都超SDGsコンソーシアム / 京都市

令和4年3月28日発足、4月1日～運用開始

きょうとSDGsネットワーク内の各種制度

行政や金融機関をはじめ、公と民が連携することで、SDGsの推進に向けた普及啓発やセミナー等の情報を共有し、各事業者等の状況に合わせて、ネットワーク内の各種制度への参加を促していきます。

京銀SDGs宣言サポート

お客様との対話を通じてSDGsの取組状況を整理し、今後の取り組みを提案するとともに、オリジナル宣言書の策定支援や当行プレスリリースによるPR支援を行う制度

(実施主体：京都銀行)



京都SDGsパートナー制度

市内拠点の有無や規模を問わず、企業やNPO法人といった各種団体等も幅広く対象とし、SDGs、CO₂ゼロに取り組む意思を宣言・実践する事業者等を公表する制度

(実施主体：京都経済SDGsコンソーシアム)



京都中信SDGs宣言サポート

SDGsの取組状況と課題について診断ツールを用いて見える化し、診断レポートに基づいた取組提案や宣言書の策定に向けたサポートを行う制度

(実施主体：京都中央信用金庫)



京都市輝く地域企業表彰

地域と共に継承・発展する「地域企業」として、安心安全や文化の継承への貢献など、地域に根差して企業活動に取り組まれている事業者を表彰する制度

(実施主体：京都市)



ソーシャル企業認証制度 S認証

社会課題の解決、SDGsの達成に向けた取組やESG経営を実践している企業に対し、京都信用金庫等がサポートを行い経営方針や事業内容、社会的インパクトなどを整理し、第三者委員会が評価・認証を行う制度

(実施主体：ソーシャル企業認証機構等)



これからの1000年を紡ぐ企業認定

社会的課題の解決など、持続可能な社会の構築に貢献する企業を認定し、これらの企業の成長と発展を支援する制度

(実施主体：京都高度技術研究所)



「きょうとSDGsネットワーク」では、各種制度に応じた●印のメリットが受けられます。
※メリットは随時追加予定



メリット	SDGsパートナー	輝く地域企業表彰	京銀宣言サポート	S認証	中信宣言サポート	1000年企業認定
事業者名や取組内容をホームページにおいて公表	●	●	●	●	●	●
「きょうとSDGsネットワーク」ロゴマークの使用	●	●	●	●	●	●
SDGsを学べるセミナー、シンポジウム、交流会、研究会など、多様な団体が連携する場の提供	●	●	●	●	●	●
京都市の一定以上の金額の契約*における「持続可能な社会を構築する取組」に係る文書提出の免除	●	●	●	●	●	●
京都市の指定管理者選定において加点対象となる場合あり	●	●	●	●	●	●
金融機関や事業主体などによるコンサルティングや助言等のサポート			●	●	●	●
京都市のプロポーザル等において加点対象となる場合あり						●
京都市中小企業融資制度「SDGs推進サポート資金」での金利・保証料優遇						●

* 予定価格4億円以上の工事請負、8千万円以上の物品等調達

2 京都SDGsパートナー制度とは

京都SDGs パートナー制度



こんな事業者・団体におススメ!

地域活動や文化活動なども含めてSDGs達成につながる、多様な取組やチャレンジを「見える化」できるのが、本制度の特徴です。

SDGsやCO₂ゼロの達成には、より多くの主体がパートナーシップで取り組むことが重要です。そこで、自らの活動や取組を振り返り、新たなチャレンジを「見える化」することにより、多様な事業者・団体が参加できる制度として、取組の深化や活動の連携を進めるきっかけをつくりました。この制度を通じて、京都のみならず世界で活躍できるSDGsパートナーを目指していきませんか。

- すでに取り組んでいることをアピールしたい!
- これから取り組んでいきたい! といった事業者・各種団体の方に、おススメです。

この制度のメリット!

以下のような
きょうとSDGsネットワークの共通のメリットが受けられます。

- 京都SDGsパートナー登録証(電子データ)を発行
- SDGs・CO₂ゼロ達成へ積極的に取り組む主体として、事業者等名や取組内容を京都市のホームページで公表
- オリジナルロゴマークの使用が可能
- SDGsを学べるセミナー、シンポジウム、交流会、研究会など、多様な団体が連携する場への参加
- 京都市の一定金額以上の契約^{*}における持続可能な社会構築に係る文書提出の免除
*予定価格4億円以上の工事請負、8千万円以上の物品等調達

そのほか、今後もメリットを追加していく予定 [きょうとSDGsネットワークについてはこちら▶](#)



令和4年5月27日～運用開始

5

京都市内に拠点があれば無料!

対象

企業、団体(NPO、学校、商店街等)、個人事業主など、京都市内の拠点の有無や、団体規模は問いません。

有効期間

登録証の発行日から **2年間** (進捗確認による更新が可能)

料金

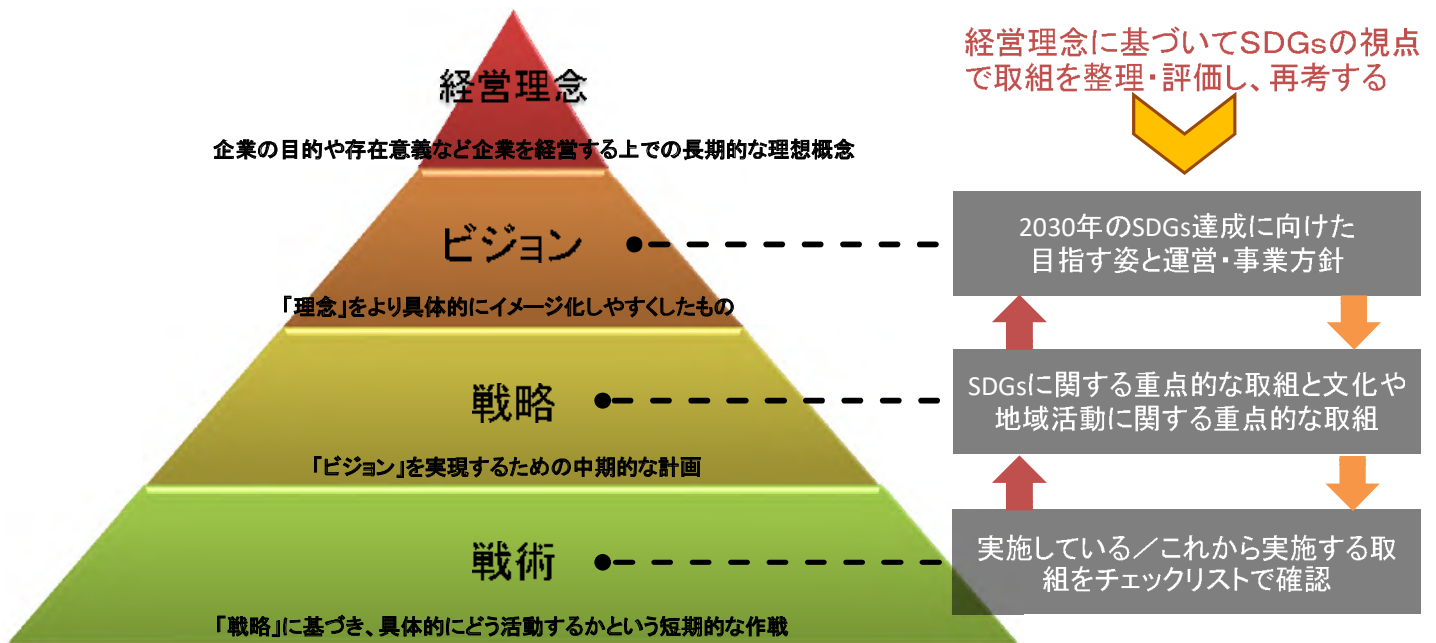
京都市内に拠点がある場合 ▶ **無料**
京都市内に拠点が無い場合 ▶ **10,000円(税込)**

*申請時に事務局から振込方法を電子メールでご案内いたします。

募集開始からすでに70の事業者・団体からの申請

6

京都SDGsパートナー制度を活用し、SDGs経営への一歩へ

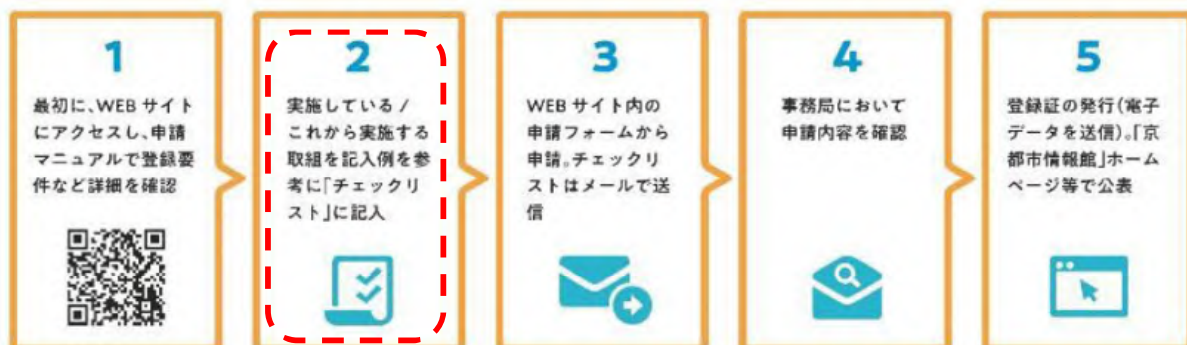


引用: マンガでわかるSDGs(株式会社PHPエディターズ・グループ)

7

京都SDGsパートナー登録までの流れ

登録方法の手順のご案内



★必ずチェックリストに取り組んでから申請をするようにしてください
申請時にチェックリストが作成されていない、送付漏れのケースが多く見受けられます

8

手順3: 申請フォームに下書きし(社内等で意思決定)、本申請(電子申請)へ

●京都 SDGs パートナー制度 登録申請フォームの入力項目一覧

※京都 SDGs パートナー制度への申請の際に入力が必要な項目の一覧です。
申請時の下書きや団体内での確認用にお使いください。(※は必須項目)

<事業者等概要>

〈ふりがな〉*	()
事業者等名称	()
郵便番号*	〒
所在地	()
代表者名*	()
代表電話番号*	()
形態*	法人、団体、個人事業主、その他()
業種*	アイテムを選択してください
職員・従業員数*	()

入力フォームで
下書きをしてから
申請するようにすると
スムーズに行えます

事業概要*

事業概要*	()
-------	-----

ホームページ URL*

ホームページ URL*	()
-------------	-----

担当者*

所属:	()
後職:	()
氏名:	()
電話番号:	()
メールアドレス:	()

情報共有

情報共有	<input type="checkbox"/> 申請情報について、市がHPで公表することに同意します。 <input type="checkbox"/> 事業者等概要、担当者に係る情報について、臨場体験や職場関連授業の実施などの目的のために市が教育機関へ情報提供することに同意します。
------	--

<2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針>*

(※150字以内)	当社は経営理念である「○○○○○○○○○○」に基づき行動し、地域社会とともに発展する。人と自然と地域を大切に、地域に根差し、地域とともに継承・発展していく。
-----------	--

記載見本

★2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針を実現するための取組を具体的な事例も挙げて記載してください。

★チェックリストで記載した取組内容を参考にすると記載しやすくなります。

★経営理念(社是など)を基に2030年に向けた方針としてより具体的にイメージ化しやすくなった内容を記載してください

<SDGsに関する重点的な取組>*

環境・社会・経済の三つの面全てについて、重点的な取組を記載してください。(分類は複数選択可)

三つの面(分類コード)	SDGsに関する重点的な取組
○環境 ●社会 ○経済	(※150字以内) 社員参加型・社会貢献活動を推進する。 (区民運動会、子ども食堂の運営に参加)
●環境 ○社会 ○経済	(※150字以内) エネルギー使用量の削減、及び再生可能エネルギーの利用率の向上を図る。 (節電や省電力機器等の導入、太陽光パネルの設置により、グリーンエネルギーを生む。)
○環境 ○社会 ●経済	(※150字以内) 真のワーク・ライフ・バランスを推進する。 (仕事と家庭の両立に向け、テレワークの実施や地域活動への積極的参加など、様々な働き方ができるようにする。)

<文化や地域活動に関する重点的な取組>*

文化や地域活動に関する取組を1つ以上記載してください。(※150字以内)

<ul style="list-style-type: none"> ● 京都の伝統産業とコラボレーションし、京都の魅力の発信にも努める。 ● 企業として、地域清掃活動へ参加する。
--

<パートナーシップ>

企業やNPO法人、行政など関係機関との連携について記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ● ○○○(経済団体)に参加し、SDGsの取組事例を共有するとともに、連携した取組を進める。
--

<登録要件>*

以下は、パートナー登録の必須要件です。記載内容を確認の上、必ずチェックを入れてください。

- 上記の記載について、二期間において積極的に取り組むことを誓約します。
- 「将来の世代が夢を掲げる豊かな京都」の実現に向け、2050年CO₂排出量正味ゼロの達成を目指す「2050京からCO₂ゼロ条例」の理念に賛同し、CO₂排出削減に資する行動を推進します。

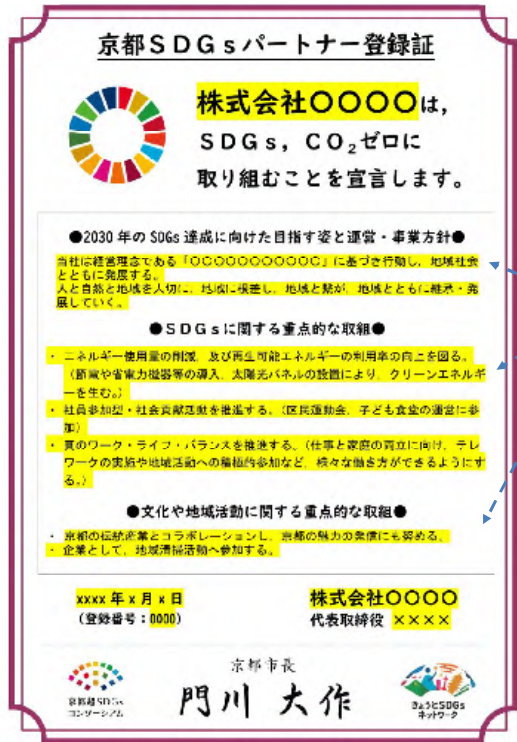
※「2050京からCO₂ゼロ条例」については下記URLを参照してください。
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000215806.html>

- 市税等の未納はありません。
- 京都市暴力団排除条例第2条に規定する暴力団、暴力団員、暴力団関係者ではありません。
- その他重大な法令違反はありません。

電子申請でいただいた内容は事務局にて誤字・脱字のチェックや記載内容について確認を行います。

その際に、調整が必要な箇所についてはご連絡をさせていただきます。

登録証の見本



電子申請の際に記載していただいた内容が、そのまま記載されるようになっています。

簡潔に分かりやすい表現にしていただく登録証としての出来上がりもわかりやすいものになります。

まずは WEB サイトにアクセス！

申込・問合せ

みなさまのご登録、お待ちしております

京都超 SDGs コンソーシアム

事務局：京都 SDGs パートナー制度担当(京都市総合政策室内)

☎ 075-222-3379

✉ sdgs@city.kyoto.lg.jp



京都超 SDGs
コンソーシアム

活動内容

1. 持続可能性・SDGsの視点から、地域社会や個人のライフスタイルのあり方を議論するシンポジウム等の実施
2. 京北地域を中心とする北部山間地域の森林保全と再生可能エネルギーの利用、環境教育プログラムの開発
3. 京都大学におけるサステナブルキャンパスモデルの構築
4. 2025年の大阪・関西万博に向けて日本全国で開催されている持続可能な地域の実現に取り組み団体等との連携
5. その他、持続可能な地域の実現に向けた新たな取組主体の発掘や育成及び情報発信

会費

あり（関わり方等によりご相談させていただきます。詳しくはお問い合わせください）

ご入会のメリット

1. SDGs研究会への参加(一般参加の場合は通常有料)
⇒研究成果や先進事例の共有等により最新の知識・情報の取得でき、新事業開発へのヒントや社員教育等にも役立ちます。
2. SDGsの達成に積極的な大学、企業、自治体との協業
⇒SDGs研究会や新事業展開に向けた共同研究を通じて、様々なプロジェクトを協働します。京都大学や京都市、日頃お付き合いのない企業等との協業のきっかけにもなります。
3. 自社が取り組むSDGsを多様な媒体で情報発信
⇒シンポジウム・オンラインセミナー等での登壇や出講を通じて、異業種・多セクターと連携した多様な情報発信ができます。

